



沈丁花はまだ咲かぬ葉がくれのくれなる蕾匂ひこぼる—若山牧水

立教池袋高等学校

高校卒業生へ

君たち立教生が活躍する時代

校長 鈴木 弘

卒業生の諸君、卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、ご子息のご卒業、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、今年度に入ってから、朝礼の内容を振り返ってみると、その多くがグローバル化時代に関連する話でした。君たちが生きていく時代は、交通機関や通信手段の更なる発達によって、国境を越えた人々の移動や情報交換が更に盛んになり、世界中の国家間の関係が大きく変化していくでしょう。今までは一国の中で解決できていたことも、多くの国に関係し、地球規模の問題として扱わらざるを得なくなっています。このようなグローバルバリエーションとよばれる大きな変化が、世界を急変させています。これからは留まることではないでしょう。

このような時代を生きていくためには、確かな教養と知識を備え、自らの確固たる意見をもち、英語という共通語をコミュニケーションツールとして自由に操り、社会常識や慣習の異なる民族との対話・交渉に長けたいわゆる日本という「グローバル人材」と呼ばれる人たちが活躍する時代になります。

君たちが活躍する時代が来ているのです。

君たちが高校時代に得たものを大切に、これからの人生を意欲的に送ること、そしてまたこのように時代に、愛と知恵を持って、君たちひとり一人が明るい未来を切り開いていく一員となることを願っています。改めて、今日までの君たちの歩みに与えられた神様のお恵みとご導きに感謝し、卒業生諸君への言葉とします。

さて、もうひとつの要素「社会常識や慣習の異なる民族との対話・交渉に長けた力を有すること」つまり「他者を理解する力」もこれにまさるに本校の教育目標のひとつ「共に生きる力」そのものです。

そして「英語をコミュニケーションツールとして自由に使いこなす力」これは、ウィリアムズ主教が「聖書と英語を教える」ためにこの学校を創立したときからの一貫して変わらぬ本校の目標そのものです。

こう考えると、君たちがこれまで本校で学んできたことは、「グローバル時代」と呼ばれるこれからの時代への準備のものだったと理解してもらえると思えます。何も恐れることはありません。まさに、「君たち立教生が活躍する時代」が来ているのです。

君たちが高校時代に得たものを大切に、これからの人生を意欲的に送ること、そしてまたこのように時代に、愛と知恵を持って、君たちひとり一人が明るい未来を切り開いていく一員となることを願っています。改めて、今日までの君たちの歩みに与えられた神様のお恵みとご導きに感謝し、卒業生諸君への言葉とします。

やっぱりこの言葉を

進学に備え中学校生活を振り返るプリントで「あなたの長所は」という質問があった。「そんなものはない」「わからない」。君たちはそんな反応が少なからず返ってきた。学校でにぎやかに過ごしているのに、どこか自信が無く、何を生活の核にすればよいかわからない。そんな様子を感じられた。自分の存在価値は何か。聖書では神と他者への愛が人間の存在意義だと述べているように私は思う。君たちには、一生懸命努力をして自分を高め、そこで得た力を他人や社会のために役立て、人から感謝されるような生活を作り上げて欲しい。感謝されれば素直に嬉しい。そうしたときに自分の存在価値も認められるようになるのではないかと。「向上心と隣人愛」。もう耳慣れた言葉ではあると思うが、やっぱり卒業する君たちにこの言葉を贈りたい。

(二組 重原康秀)

中三組主任より

すべては人のために

卒業の日を迎え、どの様な心境でいるだろうか。家族の支えに感謝、四月から始まる新生活に期待、不安など、これらの心境を抱くことはごく当たり前のことだ。人生の節目を迎えているのだから、もっと深い考えを持つのも良いだろう。

最近、思うことがある。結局、世の中は人である。この世で、学校もスポーツも、実社会も、すべて人で成り立っている。職業に就いても同様である。対象は人である。業種・職種はあくまで手段であって、形は違っていてもそこで生まれた成果によって人が幸せになることが職業の目的だろう。

ところが人に尽くせる、人の役に立てる人間になってほしい。必ず道は開け、人になるから。卒業おめでとう。

(二組 梅野伸也)

かっこいい男であれ

この学年に関わり一年、本当にあつた間に過ぎた。日々の学校生活の中で私が最も伝えたかったことは、素晴らしい定理や解法、テストの点数の取り方ではない。私が最も伝えたいことは「全力を尽くすこと」だ。「全力を尽くすこと」はかっこいいことである。幼少ゆえに全力で頑張る友人を笑ったり、足を引張ったりしていた中三当初。そんな君たちが日々の生活、部活動、体育祭、文化祭や入学式などにそれぞれの成長を感じて、徐々に自分自身で立ち回れるようになっていくのを感じた。

君たちが日々生きていく中で、周りには「自分らしく生きていこう」と思っている人がたくさんいる。でも、自分自身で立ち回れるようになっていこう。君たちが日々生きていく中で、周りには「自分らしく生きていこう」と思っている人がたくさんいる。でも、自分自身で立ち回れるようになっていこう。君たちが日々生きていく中で、周りには「自分らしく生きていこう」と思っている人がたくさんいる。でも、自分自身で立ち回れるようになっていこう。

(三組 酒井一哉)

高三組主任より

己を信じて進む

それぞれの三年間が終わろうとしている。楽しいことばかりではなく、悩み苦しみ、苦しいことばかりだ。綺麗ごとでは済まないだろう。あつたはず。部活、勉強、進路、卒業、生徒会、PTA...君達が入学する時のホルトノキに「私は高校時代に何を書いた。大怪我をして悶々とした日々を送ったからだ。しかし、『それらの日々がなければ今はない』という言葉も書いた。

悩み、考え、それをどういう形にせよ乗り越えてきた結果、今の君達がある。だからこそ、ここから先は好きなことを思い切りやっつけてほしい。己を信じ、己を貫き、己を頼る。誇りと情熱を持って前へ前へ進んでほしい。躓き、倒れても前へ振り返るな。君達の背中が好きた。卒業おめでとう。

(二組 市橋祐介)

適当と妥協

どちらも印象の悪い言葉だが好きな言葉だ。ものごとを考え方一つで、いやなことでも良いことにもなる。適切な妥協は、無責任ではない。減という意もあるが、適切に当てはまり、ほど良いという言い加減の意もある。

妥協は、もういいやという諦めの意もあるが、双方が折れあつて話をまとめるという解釈、つまり、まあいいか、という意もある。これは相手を許し、認め、信じることに繋がる。妥協の妥は、穏やかという意もあるように。

適当に妥協はするな。何が言いたいのか。要は穏やかに協調し合い、ほど良いバランスのとれた言い加減のできる男になれということ。また会おう。お互いの成長つづりを看にしよう。

(二組 古賀賢之)

過ぎゆく時の中での思い

これだけ長い時間を共に過ごしていると、君たちの声や筆跡だけで個人を特定できたり、次にする行動や発言を予測できることもあり、不思議な愛着を覚える。

これからは、それぞれが自分で決めた道を歩まなければならない。今「ここ」に留まり続けることなどできない。人間は、そうして変容する過程の中でしか生きられない、利他的で不確かな存在なのだろう。

だが、卒業後いつの日か、君たちの親しみある形容詞(「フィギュール」)を目にして、私の記憶の中でかつての出来事が蘇ってきたら、何よりの幸せを感じるだろう。

卒業おめでとう。そして、また会おう。

(三組 綾部保志)

続々・自分の足で歩け

いよいよ卒業式。いや、とうとうか。思いは人それぞれいろいろあるけれど、私の思いは、一つです。

SNSが発達し、さまざまな交流の場が増え、以前とは全く異なる所で、卒業生と出会うこともしばしば。第一線で活躍している卒業生と交流しつつ、聞いたり、感じたものは、志と情熱、向上心を今も持ち続けている上で、今も情熱の変化や技術の進歩に対応するよう不断的な努力を常に惜しまないことでした。

そのような姿を見ると、君たちにもそう望んでもいいかなと思わずにはいられません。努力を惜しまず自分の力で、自分の志を忘れずに、自分を磨いて、大きく成長して欲しいと願っています。卒業おめでとう。

(四組 内田芳宏)

「大人」の付き合い

「自由」の意味をはき違え、思うがままに振舞い、周りがどう思うかを関係なし、こんな風潮が幅を利かせているように思えてならない。

時代が変わったからではない。自由の裏には責任があり、責任を果たしてこそ自由が得られるのではないかと。私から言えるのは、自由と責任が学から三年間で共に成長した。彼らと云えるのは、自由と責任の意味をよく理解して欲しい。

誰に何をどう変えて欲しいのか、三年間共に過ごした君たちに、三年間で共有した思いを伝えてほしい。大人としての付き合い方を、三年間をありがとう。楽しい

(四組 藤本 勉)

2014年度 立教大学被推薦者の英語条項

Table with 2 columns: English Exam Level (TOEFL/TOEIC) and Percentage (91% and 9%).

英語条項
今年には英検・TOEICに意欲的に取り組んだ生徒が大変多かったようです。

2015年度 立教大学 推薦入学者数

Table showing recommended student numbers by department and subject for 2015. Includes columns for Department, Subject, Recommended, and Determined.

* 理学部は、各学科4名まで。ただし、理学部全体では8名まで。

十字 今月の聖句

何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。

(箴言 4章23節)

同程度のスコア)以上の有資格者が百四名となりました。高三全員を対象に行われたTOEIC(IP)やGTECにおいても大きな成果をあげました。

自己推薦

自己推薦は七項目あり三項目申請できるのですが、ほとんどの生徒が学業面と生活面から申請ができました。

中学一年便り

テーマに打ち込める環境を

四月に英語を始めた生徒が音読に励み、日々努力する姿を見るにつけ、喜ばしくもあり、また、奮い立たされる。体力、記憶力、あらゆる面で力みなぎる諸君に嫉妬さえ覚えることも。

中学二年便り

自分の持ち味を出して

近年に無い激戦の生徒会選挙も終了し、来年度の生徒会役員が決定した。生徒会顧問として、選挙管理委員会の作業に立ち会いはる。

高校一年便り

自分との対話

人生の岐路は幾度となく訪れる。もうこれ以上ないだかならぬ。思いきや、突然新たな岐路が目の前に立ち現れる。

高校二年便り

今後の歩み

生徒会の選挙も終了し、君たちが背負ってきた学校のバリエーションが次々明らかになった。それぞれの場所が活躍の場となり、君たちの活躍の場が広がった。